

会派の代表者が施政方針や予算案の大要に対して質問しました

公明

村田 耕一



新未来21

宮下 知朗



人口数で転出超過を止めるための若者へのアピールは

問 静岡県の人口数は転出超過で全国ワースト4位、三島市も転出超過が止まらないが、若い世代に三島市に来てもらうためアピールする必要がある。奨学金返還返済補助制度や移住就業支援制度などのさらなる拡充が必要ではないか。

有益な観光振興策

問 観光交流による観光消費額を増加させるための方策として伊豆ファン俱楽部を立ち上げたが、伊豆の国市が観光交流協定を結んだ。三島市は今後どうするのか。

持続的な発展を見据えた行財政運営の方向性

問 安定的な財源確保と将来負担軽減は持続的な発展に欠かせない視点と考える。人口減少や少子高齢化の進行や老朽化する公共施設の改修更新が控えており、厳しい状況が想定されるなか、財源確保と市債の抑制にどう努めていくのか。

長伏公園整備計画の全体像は

答 三島駅南口東街区再開発事業をはじめ移住定住、観光、企業誘致などの施策をバランスよく推進し、自主財源の増加につなげていく。市債については、適債性を判断してしつかりアピールしていく。

歳を重ねても自分らしく安心して暮らせる体制整備

問 いつまでも健康で元気にも暮らしたいとの思いは誰もが持つべきである。年齢を重ね誰かの手を借りなければ、日常生活を送ることが難しくなったとしても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせることで、伊豆半島の未参加市町への情報提供による関係強化を図る。

激甚化・頻発化する自然災害に対する備えの強化

問 安心安全に暮らすためには激甚化・頻発化する自然災害への備えも忘れてはならない。昨年は大雨の影響により市内各所で浸水被害が発生したが、大雨等の水害から市民の生命・財産を守るためにどのように対策を講じていくのか。

未来につなぐ人材を確保するための少子化対策

答 德倉谷戸川等の河川整備を引き続き実施するとともに、三島駅北口等の浸水箇所では、流域等の調査を行い有効な対策を検討する。加えて、都市下水路においては、規模多機能型住宅介護の2施設を整備予定である。要支援、要介護となる場合でも住み慣れた地域でサービスを受けられるよう、サービス提供体制を整えていく。

日本共産党議員団 服部 正平



過去最大の予算案における歳入の評価

問 国は避難所となる学校体育馆の空調設備の設置を費用面で支援し全国の設置率18.9%から増加に向け設置ペースを2倍にするとしている。例えば、磐田市は2027年度までに全30校の設置完了を目指すとしているが、三島市の状況を伺う。

二島市の農業の課題における対策

問 令和4年の米騒動と言われる米問題、野菜の価格高騰等で市民の家計が逼迫している。農業を取り巻く課題には高齢化や人手不足、耕作放棄地の増加、環境問題、国際競争などがある。本市の農業の課題についての対策を伺う。

新風会 横山 雅人



歳出の抑制によるオンラインワークを目標とする事業への影響は

問 物価高騰の影響を受け徹底して経費削減に努めることとともに、市民の生命・財産を守るために、市民負担を求めるスポーツ施設の利用料、公共料金の引き上げを示唆されていることから市財政の基礎体力が低下していると思われるが、歳入に対しても評価を伺う。

従来の事業、新規事業における歳入の評価

問 歳出面は徹底した抑制としつつも、商工業振興事業は約6700万円もの増額となっている。他団体との共同で圧縮は可能であり、大阪・関西万博への出展など無用と考えている。交流とにぎわいあるまちづくりを行う上で、どう吟味し検討されたか伺う。

答 令和7年度新規事業の一つである店舗魅力アップ改修事業費補助金6500万円は、市内事業者の店舗改修に要する経費の一部を支援するもので、日頃から要望をいたしており、国の交付金を活用できるタイミングで事業化を図ったものである。

長伏公園整備計画の全体像は

問 長伏プールの解体工事も終わり、第1期工事として大型複合遊具の整備が予定されている。長伏公園整備計画の全体像を伺う。

答 「若い世代から選ばれる楽しい街のシンボル」となる都市公園を目指す。今後策定する整備構想を基に児童公園の刷新にぎわいを生み出せる施設、健康増進を図る施設、若者が楽しめる施設等について、令和8年度以降の早期に三島の魅力が詰まった空間整備を進めていく。